



羅針盤

文責:迎 房子 令和3年10月19日(火)

実力テストが終了しました

秋とは思えない暑さの中、先週の進路説明会には多数御参加いただき、ありがとうございました。限られた時間の中ではありましたが、進路決定にあたっての留意点や受験手続きの流れ等について理解を深めていただけたら幸いです。

いよいよ三者面談が22日(金)から始まります。20分程度の時間で、最終的な進路希望の確認をさせていただきます。お尋ねがありましたら、進路担当または担任まで早めに御連絡ください。

今必死にならないで
いつ必死になれますか!



さて、後期がスタートして1週間。実力テストが終了し、結果が出ました。志望校決定を控え、生徒たちはその結果に一喜一憂。公立高校前期入試まであと100日余り、後期入試まで130日余り。私立高校等は一番早い高校であと70日余り、多くの私立入試まで90日もありません。もう時間がない状況で、手応えを感じる一方、自分の希望とは裏腹の厳しい現実を突きつけられた生徒も多かったようです。

「もう無理だ」とあきらめるほど、必死になっていますか？

『もう、やるしかない』のです。『死にものぐるいで』『時間を惜しんで』やるしかないのです。不安なあまり、焦って新しいことを始めるのではなく、テストや問題集を解いてできなかった内容、授業でわからなかったことを確実に理解し身に付けていくことが大切です。目の前にあるひとつひとつのことに徹底して取り組み、クリアする。その小さな積み重ねが得点UPにつながるのです。

そして、登下校中、休み時間、帰ってから夕食までのひととき…。今までは何気なく過ごしてきた時間を『すべて』、勉強に注ぐしかないのです。そして、それでも足りなければ、最後は『睡眠時間』を削るしかないのです。それが「本気」「必死」といえる状態だと思います。

以前、担任していた3年生の学級で、三者面談前に「昨日の勉強時間は？」と聞いた結果です(32人)。この結果がいいのか悪いのかはわかりませんが、どの中学校も、11月になれば、昼休みに教室で問題集を開いたり、友達と教え合ったりしている生徒の姿があちこちで見られるようになります。

《平日の勉強時間》

○ 5時間以上	2人
○ 4～5時間	6人
○ 3～4時間	12人
○ 2～3時間	7人
○ 1～2時間	2人
○ 1時間未満	3人

後期始業式で、1組の宮崎君が述べた「学年代表の抱負」のなかにも出てきたことは、『受験は団体戦』。崎辺中3年全員で『本気で受験に向かう』雰囲気をつくること、そしてみんなで合格を勝ち取ることが大切です。ただ、最後は『自分自身の意志の強さ』。周りに流されず、自分の弱い心から逃げず、やり通してほしいと思います。